

◆ 使用材料 紬薬はリッチグレーズでもよい 長じゅばん・帯あげは好みで選択する

713000	ホワイト	土台・足	適量
713090	ヘアカラー	ヘア用	適量
713140	エターナルブルー	上身頃・下身頃	1コ
713665	マスターDイエロー1/2	帯・花柄	適量
721821	ES ^{プロ} ッチスタンド P(上半身)	ボディ(上半身)	1体
721822	ES ^{プロ} ッチスタンド P(下円錐)	ボディ(下円錐)	1体
212612	ノズルB(ループ中)	絞り出し用ノズル	1枚
730118	プレミアムグレーズ 500ml	紬薬	1本



1. メイクしボディをセットする

①メイクする

・^{プロ} ッチスタンド P(上半身)の顔にメイクをする

②ボディをセットする

・^{プロ} ッチスタンド P(上半身)と^{プロ} ッチスタンド P(下円錐)をセット

③厚紙を貼る

・ボディは下円錐の大きさより大きい円 2.9mm、厚み 3mm の厚紙をしっかり貼る

Point.1

- ・乾燥と焼成でボディが着物は縮むことを考慮します
ボディの下に厚紙を貼って、厚紙の下部分に着物の裾がつくように着せます。
- ・下見頃は円錐の間に膨らみを持たせて、ふんわり着せ付けるようにします。

①メイクする



②ボディをセットする



2. 足と草履

①足を作る

徐々に太くした足のループを 5cm ぐらい伸ばす
先を少し曲げておく

②草履を作る

ブラックを 3mm の厚さにカットした草履を足のサイズに合わせて 1 足カットする

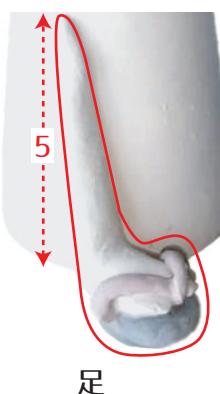
③鼻緒を作る

草履の鼻緒をレッドで 2 つ作り、ゆったりつける

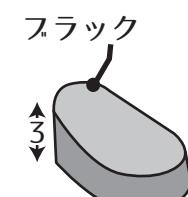
Point.2

- ・鼻緒はひび割れやすいので、ゆったり余裕をもってつける

①足を作る



②草履を作る



③鼻緒を作る



草履と足袋は水でくっつけ
鼻緒をゆったり作る

3. 上見頃と衿

①内衿 ピンク

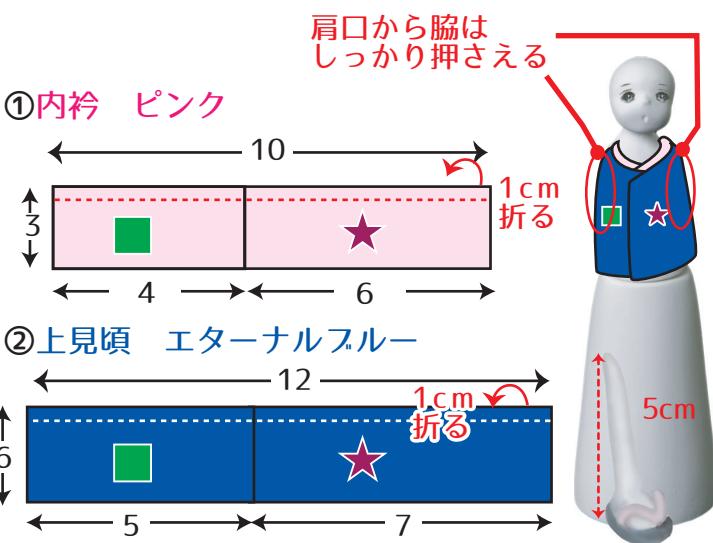
薄く延ばして上部を1cm軽く折る
短い方を人形の右下に、長い方を左上の首に着せ付ける

②上見頃 エターナルブルー

①と同様に折る部分をつぶさないように折り、②を重ねて巻く。衿の重なる部分は特に注意する

Point.3

- ・折る部分…軽く折る程度で膨らみをつぶさない
- ・全体に水は付けないが肩・脇の部分は筆に水をつけてしまり押さえてつけて肩口を固定しておく
※後で袖を付けたとき、肩全体が落ちないように



4. 下身頃と長じゅばん 着物の模様は自由

①長じゅばん ピンク

図のサイズにカットし、下部を1cm軽く折る

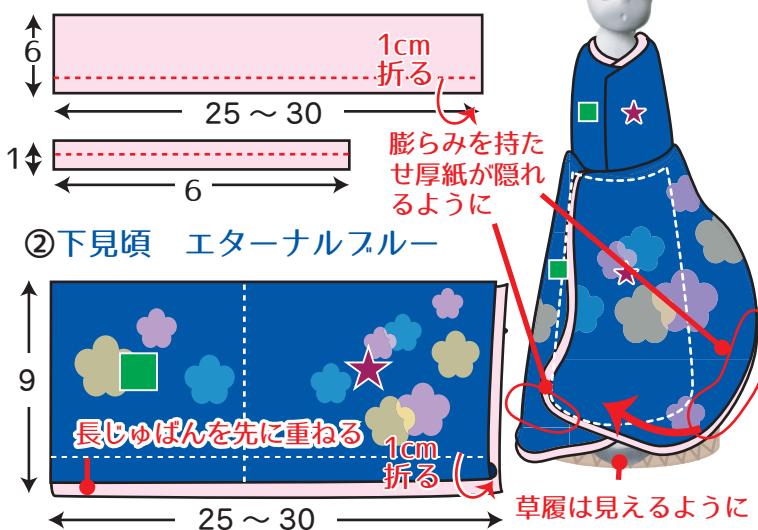
②下見頃 エターナルブルー

①折る部分をつぶさないように下部を1cm軽く折る
②長じゅばんを下見頃に重ねて貼ってから、裾は厚紙が隠れ、草履の部分は見えるように巻く

Point.4

- ・長じゅばん…下見頃の下に貼る
- ・裾…焼成の収縮を考慮し、厚紙が隠れる位置で、下見頃は強く引っ張らずゆるく膨らみを持たせて着せる
- ・前スソ部分…草履が見えるように少し引き上げる

①長じゅばん ピンク



ここまでで1~2日乾燥させ、ヒビの補正をする

5. 前帶

①前帯を作る

- ・上部と下部の端を0.5cm折り返す
- ・前部分はフワッと少し帯前にゆとりを持たせてひと巻きし後ろで重ねる
- ・後ろの重ねたところをしっかり背中に押さえとめる

②帯あげ(①か②のいずれかを選択)

- ・①か②で用意した帯あげを帯の上につける
 - ①前帯の長さ×2cmの帯あげを伸ばし、輪を潰さないように中心で半分に折り、下部分を適当な幅にカットします
 - ②前帯の長さに細いループを作る
 - ワキからワキに向かって帯あげをつける

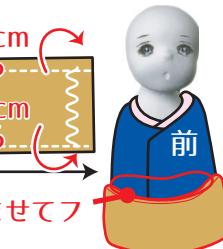
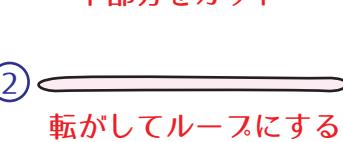
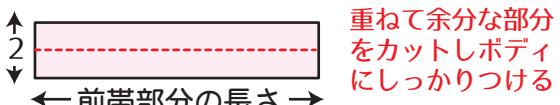
Point.5

- ・帯前部分は、焼成後ヒビがいかないようにフワッと着せ付け、背中は帯が落ちないようしっかりとつける

①前帯



②帯あげ(作り方は2パターン)



6. 袖とフキ

着物の模様は自由

①フキ ピンク ×2枚

図のサイズにカットし下部を1cm軽く折る

②袖 エターナルブルー ×2枚

- 下部を1cm軽く折る
- ①を重ねてから、②の中央部分を二つ折りにする。
つぶさないようにティッシュを間に挟んでもよい
- 内袖が見えないほうの袖の端をハサミでまっすぐにカットし両肩口にしっかりとつける
- 袖の下も、長さを合わせてハサミでカットする

Point.6

- 袖の端はハサミでカットする
- 袖は肩口は落ちやすいのでしっかり水で接着する

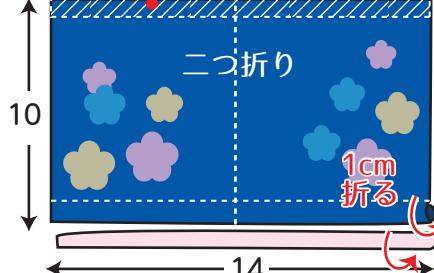
①フキ ピンク 肩口から脇はしっかりと押さえる



袖の長すぎる部分はカット



②下見頃 エターナルブルー



7. リボンをつける

①リボンタレを作る

- 両端を中心にふわっと折り、中心にギャザーを入れる
- タレの中心は背中に空間があかないようにしっかりと背中に付ける
- タレの端は表情が出るようにデザインする

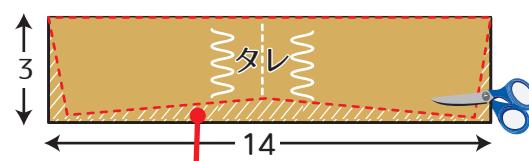
②リボン房を作る

- 薄く延ばして上下両端を1cm軽く折る
- 両端を中心に寄せて大き目のリボンを作る
- 上にリボン房をフワッと膨らみを持たせる

Point.7

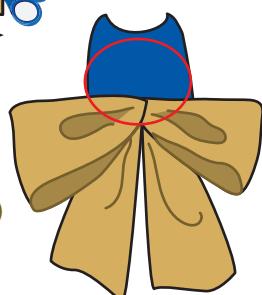
- タレ…リボンのタレは空間があかないようしっかりと背中につける
- 房…前からも見てバランスを取りながら膨らます

①リボンタレ



背中の空間があかないようにしっかりとつける

斜線部をカットする



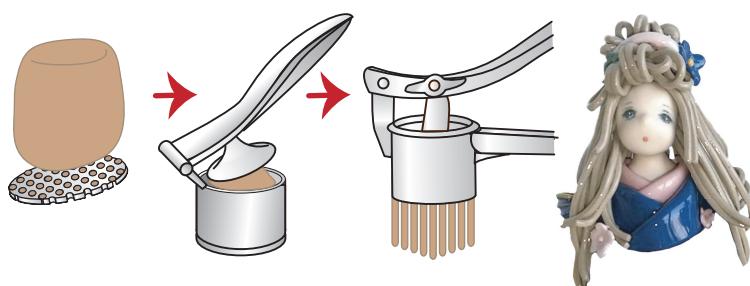
②リボン房（両端から中心に寄せる）



8. ヘアーをつける

①ヘアカラーを絞る

- 《ヘアカラー》かお好みの色SE ルーパーにノズルB(ループ中)をセットし絞る
- ヘアにお好みで花飾りを付ける



ここまで1～2日乾燥させ、ヒビの補正をする

9. 焼成する

①補正する

- ひび割れ、欠け、補正、修復を乾燥時に行っておく

②釉薬を塗布し焼成する

- プレミアムグレーズ(リッチグレーズでもよい)を、塗布する
- 焼成窯に専用焼成窯に入れ1100℃で焼成する



9. 完成



10. 参考作品

川原みどり先生の別のボディを使った作品です



◆使用ボディ
727102
ESユーロマン雛 P(女雛)



◆使用ボディ
720401
ESスタンドバー-子供顔 P
腰までカットし下部は自作する



◆使用ボディ
721301
ESレティシア雛男 P